



瀬戸内の

うみ ひかた かいびん
海・干潟・海浜

入場無料

の生き物

海中と
海辺のようすを
さぐる

期 間 7月23日(木)~8月29日(土)

時 間 午前10時~午後4時

休 館 日・月曜日 8月9日(日)~17日(月)

問い合わせ先 香川大学博物館

《住所》〒760-8521 高松市幸町1-1
《URL》<http://www.museum.kagawa-u.ac.jp/>
《TEL/FAX》(087)832-1300
《E-mail》museum@ao.kagawa-u.ac.jp

交通案内 ※駐車場がありませんので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

●JR 高松駅から

徒歩30分(駅前広場地下にレンタサイクルあり)

ことでんバス【13 弓弦羽】【15 香西車庫】「宮脇町」下車 徒歩5~6分
【11 弓弦羽(昭和町経由)】「幸町」下車 徒歩2~3分

●JR 昭和町駅から

徒歩5~6分

●ことでん 瓦町駅から

徒歩20分(駅地下にレンタサイクルあり)

ことでんバス【23 弓弦羽】「宮脇町」下車 徒歩5~6分

●アクセスマップ



●香川大学教育学部・構内



公開
講座

「海岸の砂浜や浅い海にすんでいる生物を調べよう」
干潟にすむ生物、
海の特徴と魚の性質に応じた魚礁、
そして魚の性の不思議について学びます。

日 時/8月4日(火)、5日(水)、6日(木)
10:00~12:00(計3回)

場 所/香川大学博物館・実習スペース

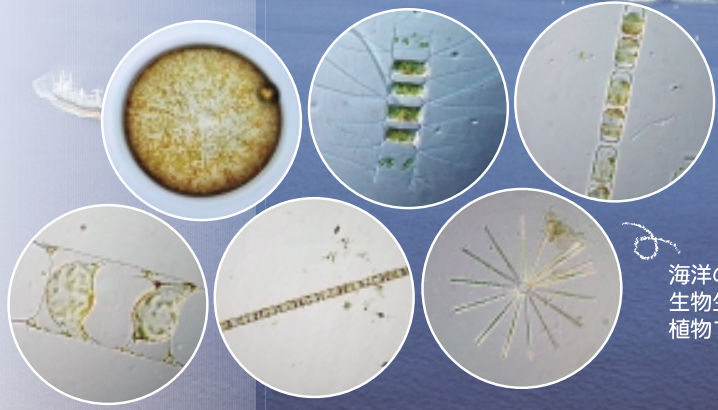
対 象/小学3年~6年生

受講料/2,000円

申込み・問合せ/香川大学生涯学習教育研究センター
TEL:(087)832-1273

海 うみ

瀬戸内の海にはたくさんの島々が浮かび、多様な環境に満ちています。かつては赤潮をはじめとした海洋汚染に悩まされていましたが、現在は水質も良くなり、2000種類以上の魚が生息する豊かな海です。この豊かな海を支えているのはとても小さな生き物たち。これらの微小生物や香川大学で開発された人工漁礁等について紹介します。海の中をそっとのぞいてみませんか？



海洋の生物生産を支える植物プランクトン



満潮時



干潮時

←香川県高松市
新川・春日川河口干潟

ひがた 干潟

海では太陽の引力によって潮位差が生じ、1日に(正確には24時間50分)に2回の満ち引きをくり返しています。干潟は陸から海に向かってなだらかな傾斜が続き、干満周期によって現れたり消えたりする特殊な環境です。この海でもあり、陸でもある干潟に生息する生物。その特殊な生き物たちを紹介します。あなたも貝の声を聞いてみませんか？



干潟の生態ピラミッド

海浜 かいひん

海浜は高温や乾燥、海水による塩害など、生物にとってはたいへん厳しい環境です。そのため、生物の多様性は決して高くはありませんが、このような場所でしか見ることができない海浜植物や昆虫がいます。観音寺市有明浜などで観察できる海浜性の昆虫等を紹介します。潮風が優しい瀬戸の渚に降り立ってみませんか？



有明浜の昆虫と植物